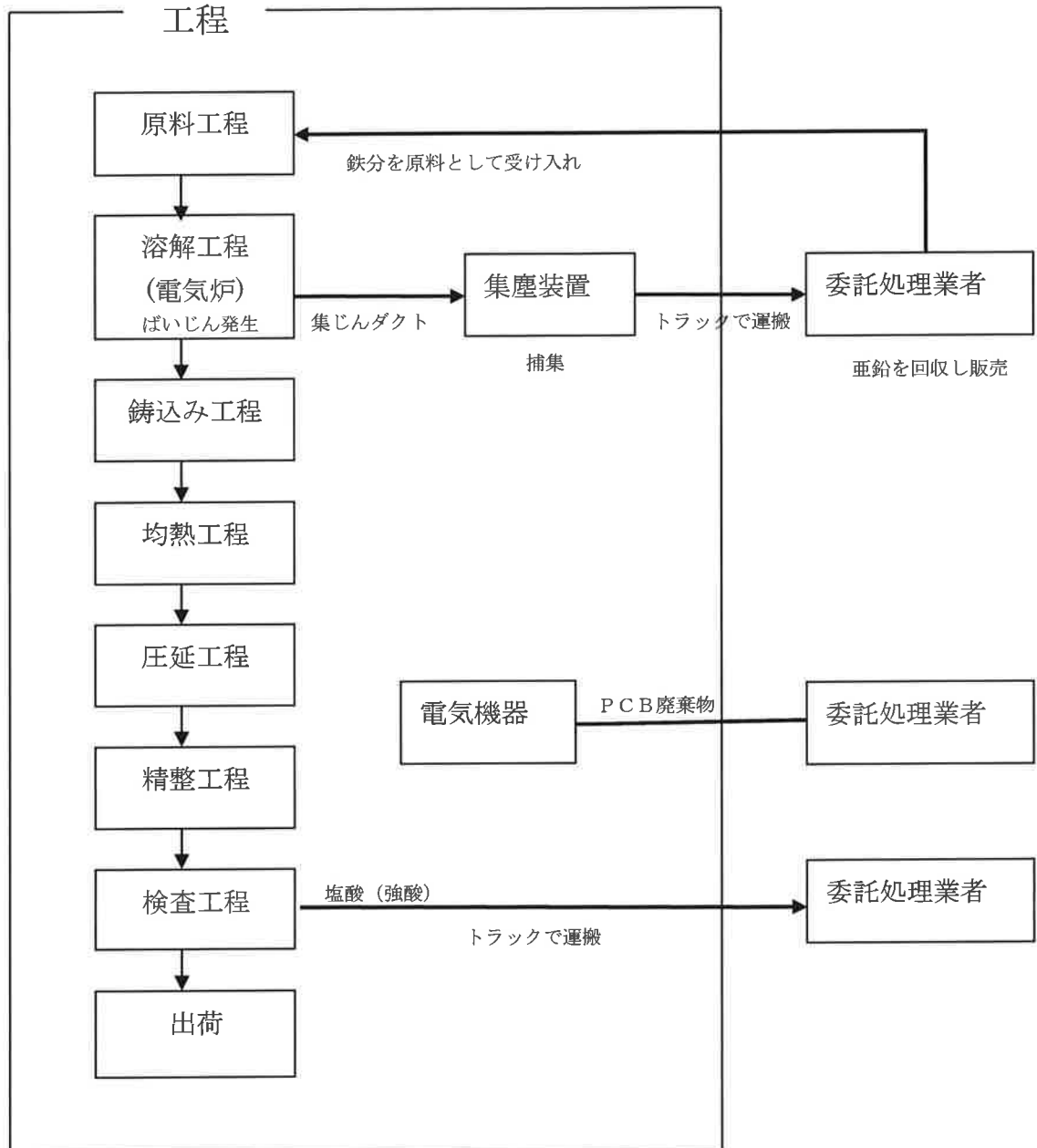


(第1面)

特別管理産業廃棄物処理計画書	
令和7年6月13日	
都道府県知事 大井川 和彦 殿	
提出者	
住 所 茨城県つくば市片田486	
氏 名 株式会社 伊藤製鐵所 筑波工場	
執行役員工場長 西山直之	
電話番号 029-837-2111	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	株式会社 伊藤製鐵所 筑波工場
事業場の所在地	つくば市片田486
計画期間	令和7年4月1日 ～ 令和8年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	鉄鋼業（電気炉による製鋼・製鋼圧延業）
②事業の規模	製造品出荷額 17,256 百万円
③従業員数	187名
④特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙の通り



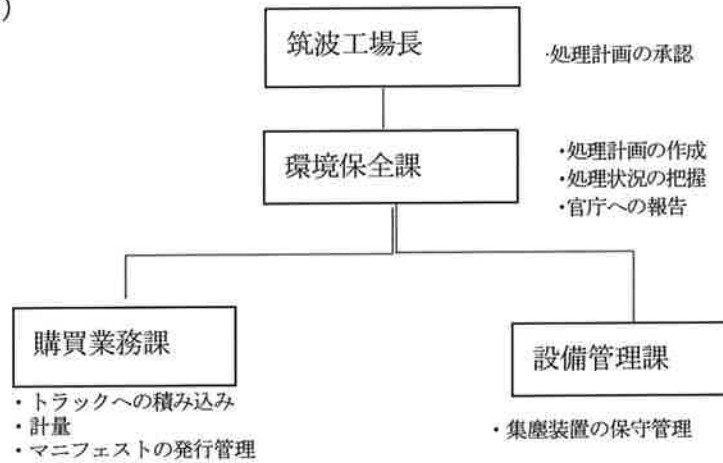
特別管理廃棄物の一連の処理の行程



(第2面)

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	第2面-2, 3のとおり	
	排出量		
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	第2面-2, 3のとおり	
	排出量		
	(今後実施する予定の取組)		

特別管理産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ばいじんは運搬用トラックに搬出する直前まで集塵装置内で保管されるため、他の廃棄物の混入は無い。
②計画	(今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 現状の取組を継続する。

## 特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

## ①現状

特別管理産業廃棄物の種類	ばいじん	P C B廃棄物	汚泥（有害）
排 出 量	3,951 t	0 t	4.1kg
これまでに実施した取組	溶解工程において酸素、燃料の使用量を管理し、ばいじん発生抑制に努めた。	期限内の処理を進める。	過去、使用していた試薬が突発的に発見されたため処理を行った。

## ②計画

特別管理産業廃棄物の種類	ばいじん	P C B廃棄物	汚泥（有害）
排 出 量	4,000 t	10 t	0kg
今後実施する予定の取組	現状の取組を継続する。	期限内の処理を進める。	今年度、排出の予定は無い。


特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状			
特別管理産業廃棄物の種類	引火性廃油	強酸	廃水銀
排 出 量	15.5kg	3.0kg	0.8kg
これまでに実施した取組	過去、使用していた試薬が突発的に発見されたため処理を行った。	過去、使用していた試薬が突発的に発見されたため処理を行った。	過去、使用していた試薬が突発的に発見されたため処理を行った。
②計画			
特別管理産業廃棄物の種類	引火性廃油	強酸	廃水銀
排 出 量	0kg	0kg	0kg
今後実施する予定の取組	今年度、排出の予定は無い。	今年度、排出の予定は無い。	今年度、排出の予定は無い。

## (第3面)

## 自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	第3面-2, 3のとおり	
	自ら再生利用を行った 特別管理産業廃棄物の量		
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	第3面-2, 3のとおり	
	自ら再生利用を行う 特別管理産業廃棄物の量		
	(今後実施する予定の取組)		

## 自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	第3面-2, 3のとおり	
	自ら熱回収を行った 特別管理産業廃棄物の量		
	自ら中間処理により減量した 特別管理産業廃棄物の量		
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	第3面-2, 3のとおり	
	自ら熱回収を行う 特別管理産業廃棄物の量		
	自ら中間処理により減量する 特別管理産業廃棄物の量		
	(今後実施する予定の取組)		

## 自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項

## ①現状

特別管理産業廃棄物の種類	ばいじん	P C B廃棄物	汚泥（有害）
自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t	0kg
これまでに実施した取組	再生利用は行っていない。	再生利用は行っていない。	再生利用は行っていない。

## ②計画

特別管理産業廃棄物の種類	ばいじん	P C B廃棄物	汚泥（有害）
自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t	0kg
今後実施する予定の取組	なし	なし	なし

## 自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項

## ①現状

特別管理産業廃棄物の種類	ばいじん	P C B廃棄物	汚泥（有害）
自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t	0kg
自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t	0kg
これまでに実施した取組	中間処理は行っていない。	中間処理は行っていない。	中間処理は行っていない。

## ②計画

特別管理産業廃棄物の種類	ばいじん	P C B廃棄物	汚泥（有害）
自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t	0kg
自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t	0kg
今後実施する予定の取組	なし	なし	なし

## 自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項

## ①現状

特別管理産業廃棄物の種類	引火性廃油	強酸	廃水銀
自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	0kg	0kg	0kg
これまでに実施した取組	再生利用は行っていない。	再生利用は行っていない。	再生利用は行っていない。

## ②計画

特別管理産業廃棄物の種類	引火性廃油	強酸	廃水銀
自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	0kg	0kg	0kg
今後実施する予定の取組	なし	なし	なし

## 自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項

## ①現状

特別管理産業廃棄物の種類	引火性廃油	強酸	廃水銀
自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	0kg	0kg	0kg
自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	0kg	0kg	0kg
これまでに実施した取組	中間処理は行っていない。	中間処理は行っていない。	中間処理は行っていない。

## ②計画

特別管理産業廃棄物の種類	引火性廃油	強酸	廃水銀
自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	0kg	0kg	0kg
自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	0kg	0kg	0kg
今後実施する予定の取組	なし	なし	なし



## (第4面)

## 自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項

① 現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	第4面－2, 3のとおり	
	自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量		
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	第4面－2, 3のとおり	
	自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量		
	(今後実施する予定の取組)		

## 特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	第4面－2, 3のとおり	
	全処理委託量		
	優良認定処理業者への処理委託量		
	再生利用業者への処理委託量		
	認定熱回収業者への処理委託量		
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		
	(これまでに実施した取組)		

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項				
①現状				
特別管理産業廃棄物の種類	ばいじん	P C B 廃棄物	汚泥（有害）	
自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t	0kg	
これまでに実施した取組	埋立処分は行っていない。	埋立処分は行っていない。	埋立処分は行っていない。	
②計画				
特別管理産業廃棄物の種類	ばいじん	P C B 廃棄物	汚泥（有害）	
自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t	0kg	
今後実施する予定の取組	なし	なし	なし	
特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項				
①現状				
特別管理産業廃棄物の種類	ばいじん	P C B 廃棄物	感染性廃棄物	
全処理委託量	3,951 t	0 t	4.1kg	
優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0 t	4.1kg	
再生利用業者への処理委託量	3,951 t	0 t	0kg	
認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0kg	
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0kg	
これまでに実施した取組	委託処理業者の工場を見学し、適切に処理が行われていることを確認した。	昨年度の排出は無い。	特別管理産業廃棄物処分業許可証を確認した。	

## 自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項

## ①現状

特別管理産業廃棄物の種類	引火性廃油	強酸	廃水銀
自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	0kg	0kg	0kg
これまでに実施した取組	埋立処分は行っていない。	埋立処分は行っていない。	埋立処分は行っていない。

## ②計画

特別管理産業廃棄物の種類	引火性廃油	強酸	廃水銀
自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	0kg	0kg	0kg
今後実施する予定の取組	なし	なし	なし

## 特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項

## ①現状

特別管理産業廃棄物の種類	引火性廃油	強酸	廃水銀
全処理委託量	15.5kg	3.0kg	0.8kg
優良認定処理業者への処理委託量	15.5kg	3.0kg	0.8kg
再生利用業者への処理委託量	0kg	0kg	0kg
認定熱回収業者への処理委託量	0kg	0kg	0kg
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0kg	0kg	0kg
これまでに実施した取組	特別管理産業廃棄物処分業許可証を確認した。	特別管理産業廃棄物処分業許可証を確認した。	特別管理産業廃棄物処分業許可証を確認した。

②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	第5面ー2, 3のとおり	
	全処理委託量		
	優良認定処理業者への 処理委託量		
	再生利用業者への 処理委託量		
	認定熱回収業者への 処理委託量		
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量		
	(今後実施する予定の取組)		
電子情報処理組織の使用 に関する事項	【前年度（令和6年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物 排出量 (ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。)	3,951 t	
	(今後実施する予定の取組等)  現状の取組を継続し、電子情報処理組織を使用する		
※事務処理欄			

②目標				
特別管理産業廃棄物の種類		ばいじん	P C B 廃棄物	汚泥（有害）
全 処 理 委 託 量		4,000 t	10 t	0kg
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t	0kg
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	4,000 t	10 t	0kg
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t	0kg
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t	0kg
	今後実施する予定の 取組	現状の取組を継続 する。	期限内の処理を進め る。	今年度、排出の予定は 無い。

②目標				
特別管理産業廃棄物の種類		引火性廃油	強酸	廃水銀
全処理委託量		0kg	0kg	0kg
	優良認定処理業者への 処理委託量	0kg	0kg	0kg
	再生利用業者への 処理委託量	0kg	0kg	0kg
	認定熱回収業者への 処理委託量	0kg	0kg	0kg
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0kg	0kg	0kg
	今後実施する予定の 取組	今年度、排出の予 定は無い。	今年度、排出の予定は 無い	今年度、排出の予定は 無い

備考

- 1 前年度の特別管理産業廃棄物の発生量が50トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。

3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

(3)④欄には、当該事業場において生ずる特別管理産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

4 「自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

5 「自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、埋立処分した量を記入すること。なお、中間処理を行うことにより特別管理産業廃棄物に該当しなくなった産業廃棄物を海洋投入処分するときは、その量も含めて記入すること。

6 「特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令（以下「令」という。）第6条の14第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

7 「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前年度の特別管理産業廃棄物の全発生量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物（令第2条の4第5号イからハまでに掲げるものをいう。）を除く。）を記入すること。その量が50トン以上の者にあつては、今後の電子情報処理組織の使用に関する取組等（情報処理センターへの登録が困難な場合として廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則第8条の31の4に該当するときは、その旨及び理由を含む。）について記入すること。

8 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、特別管理産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記

入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

9 ※欄は記入しないこと。